ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

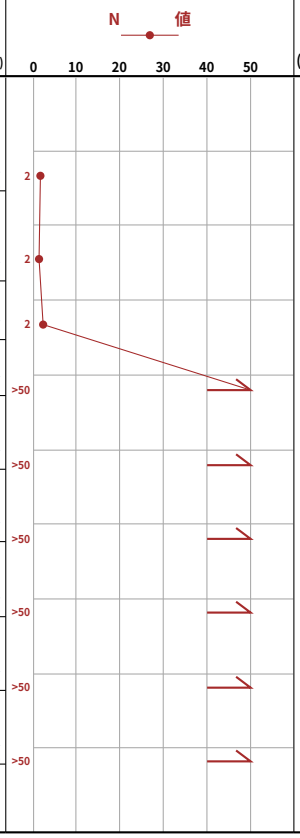
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	NO.B-P7 (NO.268+6.5m、L6.0m)	調査位置				北　緯	36 ° 35 ' 36.0000 "
発 注 機 関	栃木県宇都宮土木事務所			調査期間	2010-08-30 ～ 2010-10-28	東　経	139 ° 52 ' 17.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	149.67 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90° 0.00 °	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	9.21 m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	149.47	0.20	0.20		砂混りシルト (M-S)	暗褐			上部腐植土混入。乱れる		
1	147.92	1.55	1.75		ローム (Lm)	茶褐灰			粘着弱く、スコリア混じる。0.35から0.50m今市軽石点在 1.70mより軽石多く混じる。		09/27 0.78
2	147.02	0.90	2.65		軽石 (Pm)	黄褐灰			粒径2から5mm、スコリア混入 含水比はやや高位。2.00m付近粒径やや小さい。		
3	146.27	0.75	3.40		火山灰質粘土 (CHV)	赤茶褐			粘着やや強くスコリア混入 含水比は下位から中位。		
	145.92	0.35	3.75		粘土 (CH)	淡緑灰			粘着中位、非常に軟質。3.65mより凝灰質礫混入。		
4	145.37	0.55	4.30		風化凝灰岩 (Tf)	暗緑灰			含水比は中位、亀裂のない棒状コア。表面ザラつき芯は硬い		
5	142.17	3.20	7.50		凝灰岩 (Tf)	灰			棒状コア主体。礫径2から20mmの角礫少量混じる。含水比は中位。ハンマー打撃時中音。岩質は硬い。表面はザラつく。		09/25 5.26
	141.97	0.20	7.70		風化凝灰岩 (Tf)	暗緑			含水比は中位。やや軟質。芯は硬い。角礫混じる		
8					凝灰岩 (Tf)	灰			亀裂の少ない棒状コア主体。含水比は下位から中位。礫径10から50mm混じる。ハンマーで叩くと中音。岩質は硬い。深度8から9m間、コア割れにより10から25cmの短柱状コア。		
9	140.46	1.51	9.21								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1／22	1／16		2／38	2
1.53					
2.15	1／27	2／32		3／59	2
2.74					
3.15	1／13	1／12	1／12	3／37	2
3.52					
4.15	37	13／3		50／13	>50
4.28					
5.15	42	8／1		50／11	>50
5.26					
6.15	50／9			50／9	>50
6.24					
7.15	50／9			50／9	>50
7.24					
8.15	50／7			50／7	>50
8.22					
9.15	50／6			50／6	>50
9.21					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
		6.35	P7-A		岩石試験	09/25
		6.80				09/27